News Release

令和３年 11 月 12 日

しののめ信用金庫　上半期決算概要を公表

コア業務純益は前年同期比 388 百万円増加し 1,760 百万円を計上
当期純利益は前年同期比 435 百万円増加し 1,086 百万円を確保

▼ しののめ信用金庫（理事長 横山 慶一）は、令和３年度上半期決算概要を公表した。

▼ 貸出金は、令和２年度上半期に感染症対応融資を組織的に推進し、令和２年度通期で 500 億円を超える融資を実行してお取引事業者の資金繰り支援を徹底したことで、事業者は一定の手元流動性を確保できており、令和３年度は融資申込件数が減少しました。
その結果、貸出金残高は前年同期比 18,001 百万円（△3.82%）減少し 452,901 百万円となりました。
預金は、流動性預金は前年同期比 39,575 百万円増加したものの、定期性預金が 24,639 百万円減少したことで、預金合計では 14,942 百万円（1.44%）増加し 1,047,871 百万円となりました。

▼ 損益については、貸出金利息が減少したものの有価証券利息配当金が増加したことで、業務収益は前年同期比 255 百万円（4.56%）増加し 5,848 百万円となりました。
業務費用は一般貸倒引当金繰入額の減少や経費の削減等により、前年同期比 501 百万円（△10.66%）減少し 4,196 百万円となりました。
その結果、業務純益は前年同期比 756 百万円（84.49%）増加し 1,651 百万円となりました。
本業での収益力を示すコア業務純益（実質業務純益－国債等債券損益）は、前年同期比 388 百万円（28.34%）増加し 1,760 百万円を確保しています。
当期純利益は、前年同期比 435 百万円（66.97%）増加し、1,086 百万円となりました。

▼ 自己資本比率は国内基準で求められている 4%を上回る 8.19%（前年同期比 0.78%上昇）となりました。

しののめ信用金庫
〒370-0851　群馬県高崎市上中居町58
電話（代表）　027-330-1175

▼ 金融再生法に基づく開示債権（不良債権）は、16,590 百万円、その内訳は「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」が 4,249 百万円、「危険債権」が 10,576 百万円、「要管理債権」が 1,764 百万円。不良債権比率（金融再生法に基づく開示債権比率）は、3.65%と低い水準であり貸出資産の健全化が図れています。

前年同期（令和 2 年 9 月期）との増減を、主な開示項目ごとに表でまとめると以下のとおりです。

金額単位：百万円

開示項目	2 年 9 月期	3 年 9 月期	増減値	増減率
預金積金残高	1,032,929	1,047,871	14,942	1.44%
貸出金残高	470,902	452,901	△ 18,001	△ 3.82%
業務純益	895	1,651	756	84.49%
実質業務純益	1,297	1,654	356	27.51%
コア業務純益	1,371	1,760	388	28.34%
経常利益	788	1,321	532	67.55%
当期純利益	650	1,086	435	66.97%
金融再生法に基づく開示債権（不良債権）	18,689	16,590	△ 2,099	△ 11.23%
開示債権比率（不良債権比率）	3.95%	3.65%	△ 0.30%	－

（計数については単位未満を切り捨てて表示しています。）

当金庫は、令和 3 年度上半期の経営内容を開示したディスクロージャー誌を作成し店頭に備え置くとともに（11 月 30 日以降に店頭に備え置きます）、ホームページ上でも同じ情報を開示いたします。
本件に関するご照会は、下記までお問い合わせくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

群馬県高崎市上中居町 58
しののめ信用金庫　　神宮・大島（総合企画部）
TEL.027-330-1175

しののめ信用金庫
〒370-0851　群馬県高崎市上中居町58
電話（代表）　027-330-1175